

背景・課題

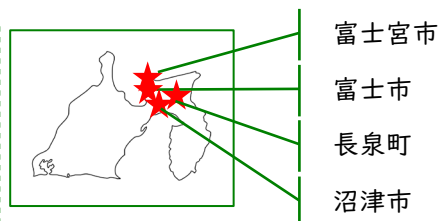
富士山麓地域において、畜産堆肥の地域内流通を促進し、環境負荷軽減に資する茶栽培を実施するため、（１）茶園に適した堆肥生産、（２）畜産農家と茶農家の連携による流通体制の構築、（３）茶農家への堆肥利用のインセンティブの創出が必要。

成果目標

- 茶栽培における有機農業の取組面積の拡大
- 乗用散布機の利用による堆肥散布面積の拡大

主な取組内容

- 茶の有機栽培、輸出、堆肥利用に関する研修会や、堆肥利用拡大をテーマにした畜産農家と茶農家の意見交換会を開催。茶農家の理解が進んだ結果、堆肥散布機等の導入につながった。
- 茶農家のほ場で堆肥散布の実演会を開催し、作業方法の比較検討を通じて、必要な設備や作業等を周知した。
- 堆肥の施用効果を確認するため、肥料の一部を堆肥に代替した茶の栽培体系を検証。施用２年目で慣行と同等の一番茶収量を確保した。
- 堆肥の利用効果や協議会の取組で得られた情報を紹介するパンフレットを作成・配布し、堆肥利用拡大の啓発を図った。



構 成 員

静岡県農林事務所、富士宮市、富士市、長泉町、沼津市、JAふじ伊豆、富士開拓農協、畜産及び茶農家

品 目

茶



○研修会や意見交換会では、堆肥の展示と紹介を行い、耕種農家の理解を促進。



○堆肥散布機への投入方法の検討では、フレコンを利用したユニックでの投入は、人力での投入と比較して60%以上の時間短縮になることが明らかになった。



○啓発パンフレットでは、堆肥利用に伴う肥料削減効果や、散布機への堆肥投入方法等の検証内容を紹介。



○肥料の一部を堆肥に代替した茶園実証ほを設置。
※効果を複数年で検証するため3年間実施。（令和4～6年度）

普及に向けた取組

堆肥の施用効果の調査・分析により、茶園に適した堆肥施用と適切な施肥管理を明らかにし、効率的な施肥方法を栽培マニュアルに記載する。

問い合わせ先

静岡県富士農林事務所企画経営課
TEL：0545-65-2197